



## 小林建設工業 約30人参加し 現場見学会開催

### 高所法面掘削工法

小林建設工業（小松島市）は1月27日、28日の

2日間、小松島市中田町中筋で発生した住宅裏山腹崩壊の復旧工事現場で、ロッククライミングマシンを用いた高所法面掘削工法の現場見学会を開催した（写真）。

見学会には、小松島市議会議員や同市役所関係者ら約30人が参加。同工法の特許を持つ、大昌建設（本社 千葉県）の吉木孝一徳島営業事務所長から工法説明などがあり、参加者から安全性や作業効率についての質疑が行われた。

同工法は、大昌建設が国土交通省のNTIS登

録（KT1010076）している掘削技術。バックホウが入り込めない急傾斜地の危険な掘削現場において、ワイヤーで掘削機を吊るし切取作業を行う。また、転石や崩壊などの危険が伴う現場で

は、ラジコンによる遠隔操作での施工を可能としている。従来の人力掘削より安全性が確保される上、工期の大幅短縮が図れる特徴を持つ。